

本学の新型コロナウイルス感染症対策の取り組み
「ウイズコロナ期を“学び”を止めることなく乗り切るために」

本学のある愛媛県では、全国で新型コロナウイルス感染拡大の危機が取り沙汰された緊急事態宣言期間中をピークに、3月から9月末までの間に114名の陽性が確認され、本学においても、入学式の中止や前期授業の開始延期など、過去に経験したことのない事態に直面しました。

そういった中、コロナとの併存を図り、十分な感染予防などの様々な工夫をしながら、学生の皆さんの“学び”を止めないための対策について、教職員一同は、全力で模索し、そしてスピード感をもって実践してきました。本学の特性が、「不測の事態にも対応できる柔軟性」という形で発揮され、チームとして前向きにコロナに立ち向かうことができた結果だと考えています。

愛媛では、8月後半から9月末にかけて陽性者は確認されていないなど散発的な感染にとどまっており、本学における後期授業では、前期における取り組みを生かしつつ感染予防を徹底しながら、9割以上を面接授業として実施することとしています。

愛媛県立医療技術大学は、これまでの経験を生かして、これからもウイズコロナ期の困難を乗り越え、ポストコロナ時代の新たな“学び”の日常に向け、学生の皆さんを全力でサポートします。

本学のこれまでの取り組み

遠隔授業の速やかな導入

学生の学びへの不安を取り除くため、1日も早い授業開始を目指し、教員間で連携協力して準備を進め、4月20日からICTを活用した遠隔授業を導入

▽県内の大学で最も早い実施 ▽「新たな授業の形を学生と一緒に授業を作る」をモットーに

▽期間中の実績 ライブ型:4割 オンデマンド型:3割 課題提出型:3割

面接授業への柔軟な移行

緊急事態宣言解除後は、学内での3密の回避や県外学生の受け入れなどの課題を、医療系大学としての知見を生かして慎重に検討し、6月22日から遠隔授業と並行した学内での面接授業を開始

▽多人数授業は教室を分けてZOOMを活用 ▽学内実習も感染防止対策を徹底して実施

▽地方の小規模校ゆえのゆとりある教室配置が鍵 ▽面接授業実施率:7割

きめ細やかな学生支援

コロナ禍における生活の変化、慣れない遠隔授業に立ち向かう学生をサポートするため、大学の特性である教員と学生の距離の近さを最大限生かした支援を実施

▽学生専用メール(STUメール)の活用 ▽ZOOMで新入生を交えた交流会(茶話会)を開催

▽感染症の専門医である学長が「コロナウイルスの正しい知識と医療人を目指す者としての心構え」を学生に分かりやすく発信 ▽経済的な困難が生じた場合の支援措置の周知

大学内の衛生環境設備の整備

学生の学びの場の安全安心を確保するため、学内施設の感染予防対策を進めます

▽学内の全トイレのセンサー化(非接触化) ▽教室の換気設備の整備 など

大学からの「新型コロナウイルス対策に関するお知らせ」についてはこちらもご参照ください。

<https://www.epu.ac.jp/covid-19/>